

■調査結果の概要と対策について

(1) パスワードの設定や管理策が不十分、適切な設定・管理が求められる

パソコンやインターネットサービスを利用する際のパスワードについて、設定方法を調査しました。(図1)

「パスワードは誕生日など推測されやすいものを避けて設定している」が48.5%、「パスワードはわかりにくい文字列を設定している」が43.3%と、それぞれ半数に満たない状況でした。また、「サービス毎に異なるパスワードを設定している」は22.2%でした。

これらの対策を実施していない場合、以下のような被害に遭う可能性が高まります。

- 安易なパスワードの利用により、簡単に推測されて不正に利用される
- パスワードを複数のサービスで使い回していると、あるインターネットサービスから漏えいしたパスワードが他のサービスでも不正に利用される

また、10代や初級レベルの利用者は、他の層に比べ対策の実施率が低い傾向にありました。

IPAでは、初心者を含めたインターネット利用者に対して、パスワードの重要性を改めて見直し、適切な設定・管理を行うための啓発活動を継続して実施していく必要があると考えます。

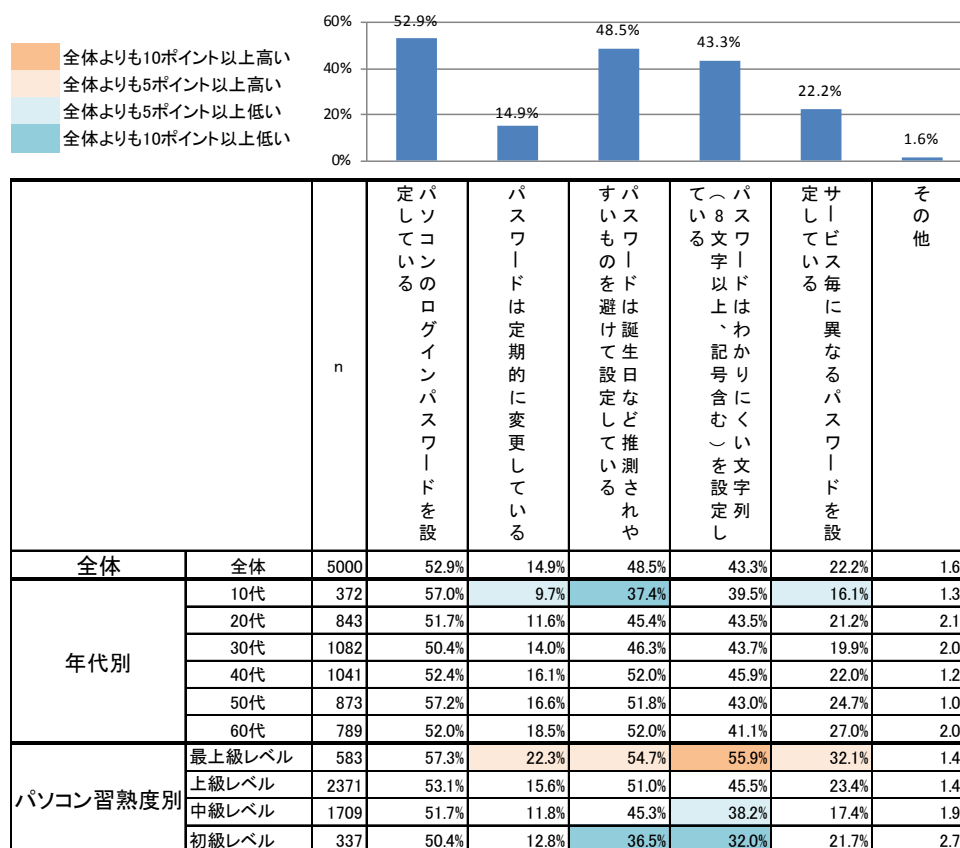


図1：パスワードの設定方法

(2) スマートフォンのセキュリティ対策の実施を

スマートフォンの利用者が増加していること及びスマートフォンをターゲットとしたウイルスによる情報流出が起きていることから、スマートフォン利用時のセキュリティ対策について調査しました。(図2)

利用者の約8割は何らかのセキュリティ対策を実施している状況であり、「OSのアップデート」(58.1%)、「信頼できる場所からアプリをインストールする」(53.5%)の実施率が高い項目でした。続いて「セキュリティソフトの導入」(36.2%)が高い結果となりましたが、約6割の利用者はセキュリティソフトを使っていない状況です。

また、情報流出を狙うウイルスの場合、インストール時にアプリが不審なアクセス権限を要求することがあり、その内容を確認してインストールを中止することにより被害を防ぐことができますが、この対策を実施しているのは26.8%という結果でした。特に、Android OSの利用者は、同OSをターゲットとしたウイルスが増加していることから、この対策を実施することが望まれます。

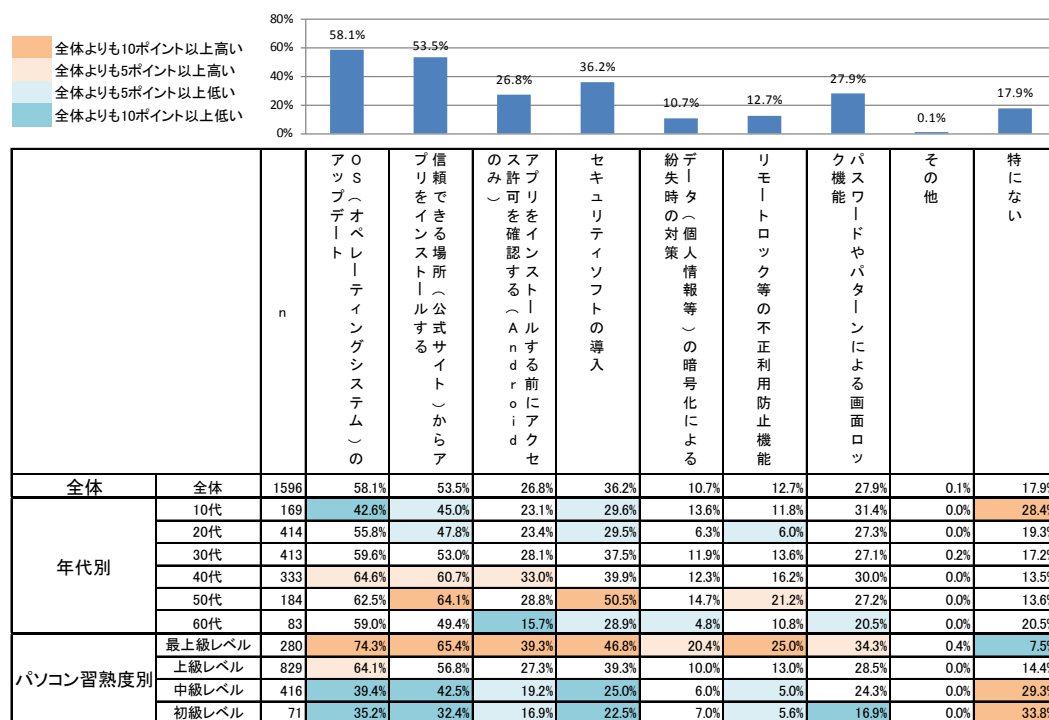


図2：スマートフォンのセキュリティ対策の実施状況

なお、10代及び初級・中級レベルの利用者は、他の層と比較して対策の実施率が低く、約3割が何も対策をしていない状況でした。

今後はスマートフォンが主流となり、利用者数が増加していくものと推測されます。同じく、セキュリティへの関心が低い利用者層も増加し、ウイルスによる被害が拡大していく恐れもあります。

IPAでは、スマートフォン利用者に向けた啓発資料「スマートフォンのセキュリティ<危険回避>対策のしおり」を発行するなど、安全な利用を促進するために必要な情報発信を継続していきます。

(ご参考)

スマートフォンのセキュリティ<危険回避>対策のしおり (IPA)

<http://www.ipa.go.jp/security/antivirus/shiori.html>

(3) 情報セキュリティ上の問題ある行為については認識されているが、対策に反映されていない

情報セキュリティ上、ウイルスに感染したり不正利用に繋がる危険性のある行為について、問題があるかどうかの認識を調査したところ、危険性のある7つの行為のすべてについて、7割以上の回答者は問題があると認識していました。(図3)

行為のうち、「Wordやメールソフトなど、パソコンにインストールされたソフトウェアにセキュリティパッチを適用しないで使い続けること」については、約8割の回答者が問題ありと認識していますが、「Windows Update等によるセキュリティパッチの更新」を実施しているのは約6割に留まり、問題は認識しているが対策は実施できていない状況となっています。(報告書 P47、P50 参照)

また、セキュリティパッチを更新しない理由として、「セキュリティパッチの更新方法がわからない」という回答が最も多くなっています。(報告書 P54、P55 参照)

Windowsなどのマイクロソフト社のソフトウェアは、Windows Updateや自動更新の設定により、セキュリティパッチの更新ができるようになっていきます。しかし、それ以外のソフトウェアは

Windows Update では更新されないため、ソフトウェア毎に対応する必要があります。

IPA では、ウイルスのターゲットになりやすいソフトウェア製品が最新の状態に更新されているかをチェックする「MyJVN バージョンチェッカ」というツールを公開しています。パソコンにインストールされているソフトウェア製品を最新の状態に保つためのツールとしてご活用ください。

(ご参考)

MyJVN バージョンチェッカ (IPA)

<http://jvndb.jvn.jp/apis/myjvn/vccheck.html>

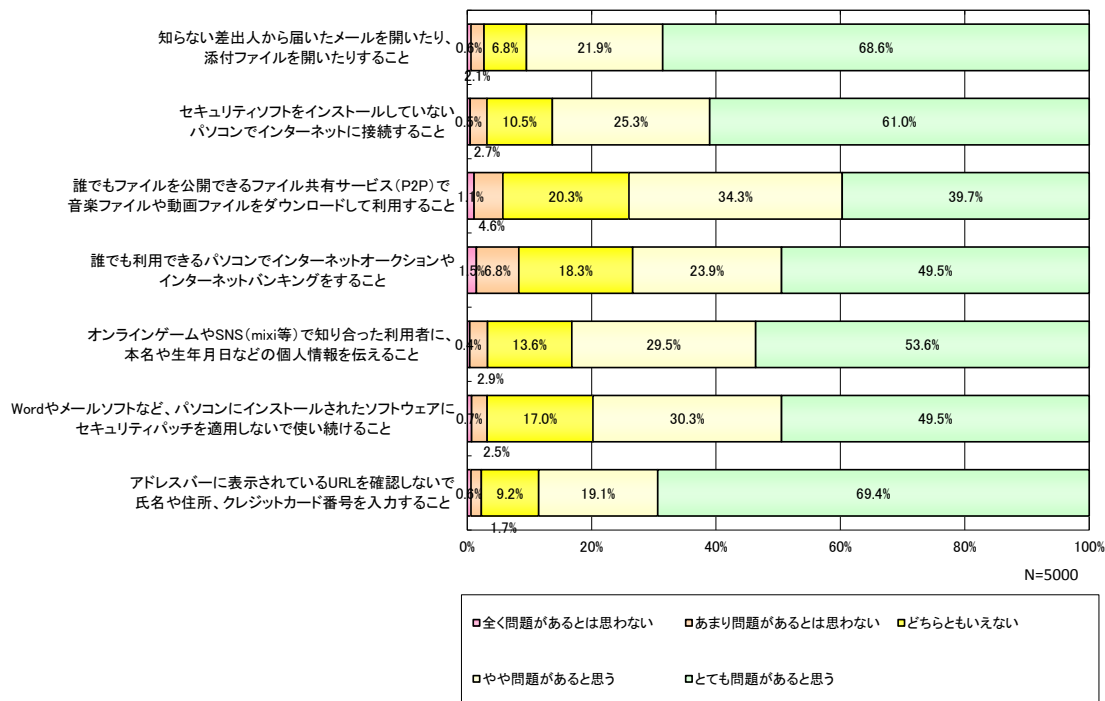


図3：情報セキュリティに関する問題意識

最後に、上述した3つの調査事項すべてにおいて、10代や初級・中級レベルのインターネット利用者は、情報セキュリティに対する意識や対策の実施率が低い傾向にありました。インターネット上の脅威による被害を減少させるためには、若年層や初心者に対する教育が重要となっています。

IPAでは、若年層の情報セキュリティ意識向上のきっかけとなることを目的として、小学生、中学生、高校生、高専生を対象とした「IPA 情報セキュリティ標語・ポスター・4コマ漫画コンクール」を継続して実施しています。

このような取り組みを含め、今後も情報セキュリティ対策の普及活動を継続していきます。

(ご参考)

第8回 IPA 情報セキュリティ標語・ポスター・4コマ漫画コンクール 2012 (IPA)

<http://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/2012/index.html>